

## G13 口金直管 LED 光源の採用をご検討中のお客様へのお願い

G13 口金直管 LED 光源は、既設の蛍光灯器具を LED 化する手段として市場に普及してきました。その一方で、LED 光源に内蔵された制御装置(電源回路)が寿命末期、誤使用等で故障、異常となった場合に、光源内部でトラッキング等による発煙発火に至り、外郭樹脂チューブや口金等に類焼、LED 光源が落下するという非常に危険な事故が発生しています(※1)。

G13 口金直管 LED 光源は、蛍光灯と、口金形状を含む寸法上の互換性はあるものの、電気特性、電気接続方法、寿命、性能、質量などで異なり、既に市場に存在する蛍光灯器具との組合せにおいて、誤使用の防止及び長期使用における安全性を確保することは極めて困難と判断し、(一社)日本照明工業会は、ランプ交換ではなく、LED 照明器具への交換を推奨しております。

一方、この数年 G13 口金直管 LED 光源がより一層市場に普及しつつある状況に鑑み、本文冒頭の事故を防止するため、(一社)日本照明工業会では、工業会規格 JLMA 301「AC 直結 G13 口金直管 LED 光源安全規格」を 2020 年 11 月に制定し、G13 口金直管 LED 光源製造販売事業者への注意喚起、安全設計への協力をお願いしております。合わせて、2021 年 4 月、同光源を取り付けるために必要な、既設の蛍光灯器具改造工事に関する注意として、日本照明工業会ガイド 301(※2)を制定し、電気工事業者様への注意喚起、安全施工への協力をお願いしております。

前述のとおり、(一社)日本照明工業会は、LED 照明器具への交換を推奨しますが、LED 光源への交換を希望されるお客様には、下記のおお願い及び注意事項に留意頂き、少しでもリスクの少ない製品、施工方法を選択して頂けるようお願い申し上げます。

### ●おお願い

工業会規格 JLMA 301 を遵守した製品選択をお願いいたします。詳しくは G13 口金直管 LED 光源製造販売事業者にご確認ください。

また、同光源が施工される際には、日本照明工業会ガイド 301 を遵守した工事となるよう、担当の電気工事業者様にご依頼ください。

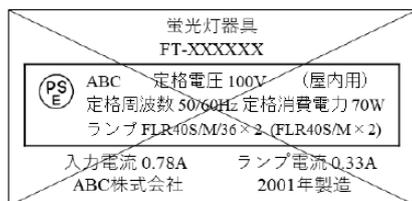
### ●注意事項

- 既設の蛍光灯器具に LED 化改造工事をする、既設照明器具メーカーの製品保証が適用外になります。
- LED 化改造工事後の器具には、従来の蛍光灯ランプは使用できなくなります。誤って蛍光灯ランプを装着すると、焼損、ランプ破損等の危険性があります。
- ガイド 301 に沿って施工した器具には下記のような表示をするよう推奨しています。施工後、器具の表示をご確認ください。

・改造前の蛍光灯器具の銘板情報が無効であることの表示(×マークなど)(図 1)

・LED 化改造工事の記録(上記に近接して表示)(図 2)

・給電側のソケットの近傍に給電側であることを示す識別表示(図3)



(図 1)



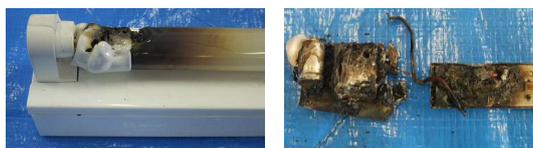
(図 2)



(図 3)

### 【参考資料】

※1 LED ランプ事故情報 [https://www.jlma.or.jp/anzen/jiko/led\\_jiko.htm](https://www.jlma.or.jp/anzen/jiko/led_jiko.htm)



G13 直管 LED ランプ焼損トラブル事例

※2 日本照明工業会 ガイド301 :既設の蛍光灯器具を AC 直結 G13 口金直管 LED 光源用に改造工事する場合の注意 <https://www.jlma.or.jp/siryo/pdf/kokai/guide301.pdf>